

平成27年度 学校評価表（自己評価・学校関係者評価）

白樺学園高等学校（全日制普通科）

基本方針	<学園訓>「公徳実践」：人として正しい考えを身につけ、人々のために尽くし、もって社会の発展に貢献する。
教育目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 確かな学力と感性豊かな心、強い体を持つ生徒の育成。</li> <li>2. 社会の変化に対応し、たくましく生き抜く精神力を備えた生徒の育成。</li> <li>3. 失敗を怖れず、何事にもチャレンジする意欲を持った生徒の育成。</li> <li>4. 真の文武両道を目指す生徒の育成。</li> <li>5. 明るく挨拶の出来る生徒、「ありがとう」と感謝の気持ちを素直に伝えられる生徒の育成。</li> </ol>

平成28年度 学校経営方針		達成度	
○信頼回復を目指し、全教職員が職務に当たる。また生徒はもとより保護者ならびに地域の期待に最大限応える学校にしていく。		概ね達成	4
○本校の卒業生が、実社会で活躍し、地域から良い人材を送り出してくれたとの高い評価を得ることが出来る教育活動を行っていく。		やや達成	3
○本校の特徴である「進学・教養コース」及び「体育コース」の各カリキュラムとICTを活用した授業や「学び直し」の教育など、学習指導をはじめ生活指導・進路指導・部活指導全般に親切・丁寧な指導を徹底し、生徒の確かな成長と成果を形として表していく。		やや不十分	2
		不十分	1

分野	領域	自己評価		学校関係者評価				
		評価項目	具体的方策	H26	H27	H26	H27	意見・要望
学校運営	校務運営	1 学校運営方針の共通理解と協力的態勢の形成・実践。	校務運営委員会・各分掌・教科・学年会議は、目的を明確にして実施する。	2.8	2.6	2.9	3.3	●今年度の事務長不在期間は校長が兼務していたが、新年度は事務長が決まりそうなので、学校体制が整うのは良い。 ●後任教頭の早期決定は学校運営上良かった。
	教員体制	2 教員の意識改革・服務の遵守・適切な教員配置・実践的指導力の向上。	教員の服務規程遵守・職務意識の高揚を研修会や講習会等で図る。	2.5	2.0	2.6	2.3	●1人1人の意識と考え方が変わることを期待する。
	学校改革	3 学校評価におけるPDCAマネジメントサイクルの機能化と情報公開。	自己評価・関係者評価を実施し課題を確認し、評価結果を公開し、次年度へつなぐ。	2.9	2.8	3.0	3.0	●特に不満なし。
学習指導	授業方法	4 授業方法の工夫・改善による理解できる授業の展開。	学年教科会議や成績会議による相互評価、研修・研究を推進する。	2.6	2.5	2.8	2.5	●少しずつ改善が見られるので今後に期待する。 ●積極的な研修参加を！
	基礎学力	5 基礎学力の定着を重視し、到達度の低い生徒に対する適切な取り組みを行う。	クラス分析・生徒個々の掌握・放課後補習を実施する。	2.5	2.2	3.0	2.5	●学び直しの取り組みと通常授業との両立、ICTを活用した新たな教育に期待する。
進路指導	調査・面談	6 進路希望調査の実施、個人面談・三者面談による生徒理解と分析。	担任・進路担当により、希望調査を踏まえた面談で進路対策指導を行う。	2.9	3.0	2.8	3.2	●不満無く、継続。
	進路分析	7 就職先・進学先についての情報の蓄積と共有。	企業訪問・大学訪問・受験報告等の情報分析を行い学年単位で情報を共有する。	2.9	3.0	3.0	3.0	●親切に対応してもらっている。 ●スポーツ以外の指定校推薦も増やして欲しい。 ●進学・教養コースの進路幅の拡張に期待する。
	職業観育成	8 生徒の職業観・進路意識の育成。	各種セミナー、講習、インターンシップ等の取組の量的・質的向上を図る。	3.0	2.9	3.0	2.8	●特に不満なし。
	推進力の強化	9 3年間を見据えた進路計画の設定と実施。推進力を発揮し各学年をリード。	学年間との連携を密にし、必要な情報提供を行い、学年をリードする。	2.8	2.8	2.9	3.0	●特に不満なし。
行事の充実	生徒会行事	10 自発的、自治的な組織活動の指導。	執行部とHRの連携、HR活動の活性化・仲間作りに発展する行事の取組を行う。	2.7	2.5	2.6	3.3	●特に不満なし。
	学校行事	11 愛校心・道徳心・社会性・公共性・安全性等を育む行事づくり。	目的・狙いに対して適切な手立てや工夫をこらした行事を追求する。	2.9	2.7	2.9	3.7	●少々ずれるが、本校のPTA活動および参加状況は他校に誇れるのでは…

分野	領域	自己評価				学校関係者評価		
		評価項目		具体的方策		H26	H27	意見・要望
いじめ防止対策	方針の立案	12	学校としていじめに対応する方針の作成	いじめ防止対策のための方針を作成し、それを職員室及び生徒・父母に周知する。	3.3	3.2	●生活指導部主任ではなく全教員の指導徹底。●不十分と答えている生徒が多いのが気になる。●定期的な方針の見直しが必要。	
	防止対策の組織化	13	校内に、いじめ防止のための対策組織を設置する。(防止対策委員会)	いじめに対する方針の作成や防止対策を担うを組織(防止対策委員会)を機能的に運営する。	3.2	3.2	●組織での取り組みが不十分。	
	防止対策	14	いじめ防止対策委員会を中心に、防止のための調査や対策を検討する。	具体的な防止対策の動きや定期的ないじめの調査を実施する。	3.4	3.1	●ポスター・講演・広報・啓蒙をもっと増やす。●SNSによるいじめの増加からネットパトロールの強化。●定期的に時間を作り、会議・話し合いが必要。	
生徒指導	指導体制	15	全教員が方針のもとに、一貫性を持った指導体制の構築。	生活指導部通信の発行と呼びかけ(他項目も同じ)、全教員での月毎の玄関指導・駐輪場指導。	2.8	2.5	●一貫性に欠ける。教員間の温度差をどうするか…。●生徒はあまり一貫性がないと思っている。●指導部通信は良い。●校長方針から、全教員が方針のもとに指導体制を統一。	
	規範意識	16	実社会で通用する人間性の教育。挨拶の励行と、場面に応じた正しい言葉遣いの指導。	全教員による日常的な生徒指導。校内・外生活での問題行動を防止するための啓蒙。	2.6	2.3	●正しい服装と礼儀作法の徹底。●生徒を信じる場面と指導する場面を見極めながら、生徒の自立を育む教育を追求すべき。●言葉遣いには、もう少し教員も意識しないといけない。	
	生活指導	17	校則に基づいた頭髪指導、服装指導、集団への帰属意識。	毎月の全校集会での頭髪服装検査へ向けての事前指導と事後指導の実施。	3.0	2.9	●生活指導部主任ではうまく指導は入らない。せめて学年団で一貫した指導をすべき。●教員間での温度差。●検査後、毎日が指導日。●指導部が中心となり達成。	
	安全指導①	18	登下校時の自転車運転マナーと盗難防止。ネット関連・薬物等の事故未然防止のための啓蒙。	交通安全指導、自転車の2重施錠の指導。青少年問題に関する特別講演の実施。	2.9	2.6	●担任・副担任・保護者の協力が必要。●2ロックの徹底。●年々意識が低下している。	
	安全指導②	19	教育相談室、家庭との連携、外郭団体との連携、研修。	学校カウンセラーの生徒支援。家庭連絡・訪問の実施。高生連・生指連等との連携・研修参加。	3.0	2.9	●教育相談員の存在は大きい。●教育相談員との情報共有。	
環境施設	保健・美化	20	学校の美化・衛生面の充実と生徒の健康。省エネ・エコの取組と生徒指導	厚生部・生徒会厚生委員会・PTA施設部を中心に、HR単位での美化・衛生・エコに取り組む。	2.5	2.5	●清掃指導を重視し、授業環境を整えるべき。●教員間での温度差。	
	施設・設備	21	学習環境の充実・施設・設備の点検・補充。	厚生部・各教科・各担任レベルでの点検を行うと共に、授業やHRで生徒の公共心を養う。	2.7	2.6	●ICT導入への教員間共通理解。●体育館棟への担架・AEDの設置は評価できる。●校長からの打ち出しで施設の整備も改善してきている。●校舎の老朽化が目立つ。	
地域との連携	学校開放	22	本校の校舎施設を地域に開放し、地域貢献に努める。	体育館・グラウンドの運動施設、校舎棟の特別教室など依頼に応じて開放する。	3.4	3.4	●継続した地域協力、トレーニング室拡充と一般開放は評価できる。●全道大会各種で解放した。	
	連携・協力	23	地域の教育行政、各種文化団体、ボランティア団体等との協力・連携。	芽室町・帯広市の教育行政や、地域の要請に対して可能なものは協力的に連携を図る。	3.1	3.2	●ユネスコ部を中心に積極的にボランティア活動の参加をしていた。また、ユネスコ部以外の生徒へ活動紹介および積極的に活動させたい。	
	情報公開	24	本校の教育実践や成果をHPや広報誌等で積極的に発信する。	本校ホームページ・学園便り・PTA便り・体文ニュース・各分掌からの通信の内容充実。	3.6	3.6	●タイムリーに更新しており、大変感謝している。●進学教養コースについての記事も充実させたい。●取材交通費が課題。	
総体評価	学校教育目標	25	全ての生徒に親切な教育、楽しく魅力ある学校生活を実現する。	教育目標を達成すべく、教職員がそれぞれの持ち場で工夫・努力する。	2.8	2.8	●「親切な教育」とは何かを追求する。●コースによって取り扱いが違うと思われることは問題である。	
	学校評価	26	継続的な学校改革の推進を図る。	現状から将来へ向け、重点目標の検討、適切な評価項目の選定を行い全教員で取り組む。	2.5	2.7	●できるできないではなく、改革しようとする決意が全教員で持つことが大切。●ICT教育について時間をかけ、できた。	

平均 2.9 2.8

平均 2.9 3.0

学校関係者評価		意見・要望	
H26	H27	意見・要望	
3.0	3.3	●昨今のSNS問題は、社会問題の1つとして、先生方も大変とは思いますが適切な対応を期待する。	
2.9	3.2	同上	
2.9	3.2	●初期対応と教員同士の情報共有のもと早い解決を期待する。	
3.0	2.7	●評価されている部分は継続し、生徒への指導の差が生じてしまわないように、一貫した指導を求める。	
3.0	2.5	同上	
2.9	2.8	同上	
2.9	2.5	同上	
2.9	2.8	同上	
2.9	2.8	●学校長からの省エネ・エコ・環境教育の話聞き、是非実施してもらいたい。	
3.0	3.3	●特に不満なし。	
3.0	3.8	●トレーニングルームリニューアルに伴い、地域住民への開放は評価できる。我々も是非利用したい！	
3.0	3.7	●特に不満なし。	
3.3	3.7	●特に不満なし。	
3.0	3.0	●学校として対策しようとしているので、評価できる。●事故の件で生徒に影響が無いか心配であったが、学校長からの説明で生徒への影響が無いことがわかった。	
2.7	3.0	同上	

### 自己評価委員会のまとめ

学校評価を取り組んで3年目になる。保護者からのアンケートの回収率は66%で、昨年と比較すると少し下がった。(H26は68%) アンケートの項目で高い評価を得ている生活指導(頭髪・服装・交通安全)・学校行事・生徒会行事・HP・学校広報誌については今後も高い評価を継続できるように取り組んでいきたい。逆に低い評価となっている丁寧な学習指導・全教員で一貫した指導については、改善点として重く受け止め検討する。出された意見は大変貴重な内容であり、本校の信頼回復と発展のためのものと受け止め、学校改革を進めていきたい。以下に重点項目を上げ、改革の方向性を示す。

<b>【学習指導:授業方法】</b> ・ALを取り入れた学習指導の研究と実践	基礎学力の定着と各教科における指導方針をもとに生徒に解る授業の両立を重視する。またALを取り入れた学習指導法を教科内研修はもとより校内研究・研修に努め実践して行く。
<b>【学習指導:基礎学力】</b> ・ICTを活用した教育と継続した学び直し学習による基礎学力の定着。	本年度初めて全校で実施した学び直し学習を単発的なものとせず、継続的な取り組みを各教科会議において検討し、実践して行く。またH28年度導入が決まったICTを活用し、生徒一人一人の課題を把握し、教材を提供しながら自学自習の習慣と丁寧な学習指導のもと基礎学力の定着を図って行く。
<b>【学校運営:教員体制】</b> ・信頼回復とチーム白樺の組織力アップ！	教員の職責を理解し、職務に当たる。職責とは教員の活動は人間の心身の発達にかかわるものであり、生徒の人格形成に大きな影響を及ぼすものであることから、一貫した生徒指導と生徒との信頼関係の醸成が今まで以上に大切になる。所属する部署や学年団との連携、情報の共有を心がけ諸問題の未然防止、早期発見、早期解決に協調性をもって臨む。

※新年度の方針会議に以上のことが反映するような会議をお願いいたします！

※前年度の「教員研修の充実」と「LHRの計画的な有効活用(生徒会行事・学校行事充実のため)も継続して取り組みます！

### 学校関係者評価委員会のまとめ

<b>【学校運営:校務運営】</b> ・教員1人1人の意識改革に期待！	●生徒・保護者はもちろん、地域からの信頼回復に向け、学校長はじめ全教員で取り組んでもらいたい。
<b>【学習指導】</b> ・基礎学力定着と丁寧な学習指導を！	●本校の実態を知り、基礎学力定着の必要性を実感した。 ●新たな試みの「学び直し」や「ICTを活用した教育」の継続的な取り組みに期待する。
<b>【進路指導】</b> ・進路決定率100%を！	●進路決定率100%を実現するための取り組みに期待する。 ●進路部・担任任せではなく、学校全体で取り組んでもらいたい。
<b>【生徒指導】</b> ・早期発見と早期解決を！ ・一貫した指導を！	●今年度は大きな問題は無かったと聞いているが、今後もいじめやSNS問題を含め、早期発見と早期解決のための取り組みを継続して欲しい。 ●保護者および生徒アンケート分析にも出ているが、生活指導に関して一貫性が無いことは問題である。是非改善を求む。